

## CONTENTS

巻頭言	01
教職をめざすみなさんへ	02
教育実習に向けて	04
介護等体験実習に向けて	08
教育実習の報告	10
介護等体験実習の報告	22
平成29年度 教育実習修了生へのアンケート結果	23
平成29年度 教員養成・採用・研修に関する各学科・各課程の取り組み	27
卒業後の私	29

### 参考資料

1. 教育実習事前の諸注意	32
2. 「義務教育教員免許志願者に対する介護等体験実習」実施要領	34
3. 教員採用選考試験の動向とその対策	35
4. 平成30年度大分県公立学校教員採用選考試験結果	50
5. 過去5ヶ年の教育職員免許状取得状況	52
6. 別府大学教職課程履修プロセス	53

## いまに続く 教員輩出の流れ

別府大学教職課程委員会

委員長 **今井 航**  
(文学部教職課程)

本学は、2020年には前身の別府女子大学の誕生から70周年を迎える。この間、本学が果たしてきた役割の1つに一定の教員を輩出してきたことが挙げられる。

近年の様子は、どうか。関係教職員や卒業生あるいは同窓会事務局などに連絡をとりながら可能なかぎり調査した結果が右上の表である。この表では、過去5年間における公立学校の教員採用者数が示されている。ここでは、別府大学の場合であることを断っておく。

この5年間では、計40名が公立学校の教員に採用されている。うち38名が卒業後に選考試験に合格を果たし採用された者で、あとの2名は現役合格者である。

学科別に見てみると、国際言語・文化学科の出身者が21名で最多である。その半数以上の13名は高等学校もしくは中学校の国語で採用されている。史学・文化財学科の出身者も16名と多い。2014年度には16倍を突破して世界史の教員に採用されたり、翌15年度には30倍を突破して日本史の教員に採用されたりした者が含まれる。難関をくぐり抜けて高等学校の教員に採用された者が見られるのは、国語についても言えることである。また、最近では、2年連続で中学校の理科に合格している。